

# 資料編

第四次熱海市総合計画後期基本計画 策定経過

熱海市総合計画審議会条例

熱海市総合計画審議会の部会に関する要領

諮問・答申

総合計画審議会 答申事項

熱海市総合計画審議会 委員名簿

第四次熱海市総合計画後期基本計画策定

市民職員合同会議市民委員名簿

熱海市総合計画策定委員会委員名簿

(第四次熱海市総合計画後期基本計画)

第四次熱海市総合計画後期基本計画策定

市民職員合同会議職員委員名簿

第四次熱海市総合計画後期基本計画試案作成

担当者名簿

基礎資料

## 第四次熱海市総合計画後期基本計画 策定経過

日付	経過
平成 26 年 6 月 17 日	第四次熱海市総合計画後期基本計画の策定方針決定
平成 26 年 6 月 24 日	試案作成担当者の決定
平成 26 年 6 月 30 日	試案作成担当者説明会
平成 26 年 12 月 15 日	試案作成担当者の進捗状況報告
平成 27 年 5 月 8 日 ～平成 27 年 5 月 25 日	市民職員合同会議の市民委員公募
平成 27 年 6 月 4 日	市民職員合同会議の団体推薦委員募集
平成 27 年 6 月 17 日	市民職員合同会議の市民委員決定 (24 名、公募 1 名、推薦 23 名)
平成 27 年 6 月 26 日 ～平成 27 年 7 月 22 日	前期基本計画の施策実施状況調べ
平成 27 年 6 月 29 日 ～平成 27 年 7 月 17 日	市民職員合同会議 (4 回)
平成 27 年 9 月 3 日 ～平成 27 年 11 月 16 日	策定委員会 (10 回) による基本計画案作成
平成 27 年 9 月 29 日 ～平成 27 年 10 月 16 日	総合計画審議会委員の選定・依頼
平成 27 年 11 月 20 日 ～平成 27 年 12 月 19 日	パブリックコメント実施
平成 27 年 11 月 25 日	総合計画審議会委員委嘱状交付式及び第 1 回総合計画審議会 《全体会》 諮問
平成 27 年 11 月 26 日 ～平成 27 年 11 月 30 日	総合計画審議会《部会》 (第一部会 2 回、第二部会 2 回、第三部会 2 回)
平成 27 年 12 月 3 日	第 2 回総合計画審議会 (全体会)
平成 27 年 12 月 21 日	答申
平成 27 年 12 月 24 日	策定委員会 審議会答申に基づく計画の修正の確認、承認
平成 28 年 1 月 18 日	後期基本計画決定

## 熱海市総合計画審議会条例

昭和 50 年 11 月 1 日  
条例第 19 号

(設置)

第 1 条 地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号。以下「法」という。）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、熱海市総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第 2 条 審議会は、市長の諮問に応じ、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 法第 2 条第 4 項の規定により定める市の基本構想に関すること。
- (2) 市の基本構想に基づく総合計画の策定に関すること。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 20 人以内で組織する。

2 審議会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 関係行政機関の職員
- (2) 公共的団体の役員又は職員
- (3) 学識経験者
- (4) その他市長が特に必要と認めた者

(平 17 条例 17・一部改正)

(任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第 5 条 審議会に会長及び副会長各 1 人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(部会)

第 7 条 審議会は、審議のため必要があるときは、部会を設けることができる。

2 部会に属する委員は、会長が指名する。

(庶務)

第 8 条 審議会の庶務は、市長の定める機関において所掌する。

(平元条例 6・一部改正)

(委任)

第 9 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成元年条例第 6 号）

この条例は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 17 年条例第 17 号）

この条例は、公布の日から施行する。

## 熱海市総合計画審議会の部会に関する要領

(設置)

第1条 この要領は、熱海市総合計画審議会条例(以下「条例」という。)の規定に基づく審議会(以下「審議会」という。)の部会(以下「部会」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 条例第7条の規定による部会は、次のとおりとする。

部会名	定員	所掌事項
第一部会	6人以内	基本構想のうち、「豊かな暮らしの創造」の子育て、教育及び福祉に関する事項
第二部会	8人以内	基本構想のうち、「賑わいと癒しの創造」及び「総合計画の推進」に関する事項
第三部会	6人以内	基本構想のうち、「豊かな暮らしの創造」の安全に関する事項及び「人と自然が共生する社会の創造」に関する事項

(会長及び副会長)

第3条 部会長及び副部会長は、部会に関する委員のうちから会長が指名する。

(部会長の職務)

第4条 部会は、部会長が審議会の会長の承認を経て召集し、座長となる。

2 部会長に事故あるとき、又は部会長が欠けたときは、副部会長がその職務を代理する。

(会議)

第5条 部会は、部会に属する委員(以下「部会委員」という。)の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

2 部会の議事は、出席した部会委員の過半数で決し、可否同数のときは、座長の決するところによる。

第6条 部会長は、部会の審議経過及び結果について審議会に報告するものとする。

附則

この要領は、平成6年11月16日から施行する。

附則

この要領は、平成12年7月13日から施行する。

附則

この要領は、平成17年11月17日から施行する。

附則

この要領は、平成22年10月15日から施行する。

附則

この要領は、平成27年11月25日から施行する。

熱経企第129号  
平成27年11月25日

熱海市総合計画審議会  
(熱海市総合戦略会議)  
会長 大久保 あかね 様

熱海市長 齊藤 栄

#### 第四次熱海市総合計画後期基本計画案について（諮問）

第四次熱海市総合計画後期基本計画（平成28年度～平成32年度）の策定にあたり、別添の後期基本計画案について貴審議会の意見を求めます。

なお、諮問案件の他、熱海市総合戦略会議として、熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について意見を求めます。

#### 特記事項

##### 総合計画審議会

- ・諮問（案） 「第四次熱海市総合計画後期基本計画（案）」

##### 総合戦略会議

- ・戦略等（案） 「熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）」  
「熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」

熱 総 審 第 1 号  
平成 27 年 12 月 21 日

熱海市長 齊 藤 栄 様

熱海市総合計画審議会  
(熱海市総合戦略会議)  
会 長 大久保 あかね

#### 第四次熱海市総合計画後期基本計画案について（答申）

平成 27 年 11 月 25 日付け、熱経企第 129 号で諮問のありました標記について、当審議会で慎重に審議した結果をとりまとめ、別冊のとおり答申します。

また、熱海市総合戦略会議として、熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案及び熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略案についての審議結果を別添意見書をもって報告します。

なお、答申した計画案及び意見した戦略案に掲げられた施策の推進について、全庁的に取り組まれるよう当審議会の総意として申し添えます。

#### 特記事項

##### 総合計画審議会

- ・答申 「第四次熱海市総合計画後期基本計画案について（答申別冊）」

##### 総合戦略会議

- ・意見 「熱海市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン案及び熱海市まち・ひと・しごと創生総合戦略案に対する意見書」

## 総合計画審議会 答申事項

### 1. 豊かな暮らしの創造

#### 【1】子どもたちが安心して豊かに育つことができる環境づくり

- [1] 出産育児の不安を解消する（乳幼児）  
 施策の内容と主な事業 不妊治療の支援

【追加】妊娠・出産に関する啓発活動

- [1] 出産育児の不安を解消する（乳幼児）  
 施策の内容と主な事業 保育サービスの充実

【追加】保育園・認定こども園における保育環境の確保

#### 【2】互いに支えあうまちづくりの推進

- [2] 互いに尊重する（障害者福祉）重点化施策（小事業）名称

【変更前】互いに尊重する（障害者福祉）

【変更後】互いに尊重する（障がい者福祉）

#### 【3】健康で豊かな暮らしの実現

- [1] 健康寿命を伸ばす（健康づくり）  
 施策の内容と主な事業 ソーシャルキャピタルづくり

【変更前】食育推進団体を増やす

【変更後】食育推進団体の加入促進

- [3] 身体を動かす（スポーツの振興）  
 施策の方向

【変更前】スポーツをはじめのきっかけづくりとなる体験講座の開催など、子どもから高齢者まで誰もがどこでも、何時までもスポーツに親しめる機会を提供します。

【変更後】スポーツをはじめのきっかけづくりとなる体験講座やスポーツ教室の開催など、子どもから高齢者まで誰もがどこでも、何時までもスポーツに親しめる機会を提供します。

- [3] 身体を動かす（スポーツの振興）  
 施策の内容と主な事業 [生涯スポーツの推進]

【変更前】各種運動教室の開催

【変更後】市内スポーツ教室の拡充

#### 【4】安全・安心を意識した住みやすさの追求

- [1] 命を守る（消防救急）施策の内容と主な事業 [消防体制の充実]

【変更前】消防広域化の研究

【変更後】消防救急広域化の研究

## 〔2〕 災害に備える（防災） 現状と課題

【変更前】 防災対策は、行政による「公助」はもとより、自分の命は自分で守るという「自助」の意識が基本となることから、防災意識の高揚が求められます。

【変更後】 防災対策は、行政による「公助」や身近な地域コミュニティ等による「共助」はもとより、自分の命は自分で守るという「自助」の意識が基本となることから、防災意識の高揚が求められます。

## 〔2〕 災害に備える（防災） 施策の方向

【変更前】 大規模地震などに備えた施設・設備の整備を進めます。

【変更後】 市民および観光客の生命、身体及び財産を守るために大規模地震などに備えた施設・設備の整備を進めます。

## 〔2〕 災害に備える（防災） 施策の内容と主な事業 [防災体制の充実と強化]

【変更前】 観光関係団体との連携強化

【変更後】 観光・建設など各種関連団体との連携強化

## 〔3〕 事故や犯罪を防ぐ（防犯・交通安全） 施策の方向

【変更前】 地域ぐるみの防犯活動への支援を行います。

【変更後】 不審者情報の提供など、地域ぐるみの防犯活動への支援を行います。

## 〔6〕 まちを結ぶ（交通） 施策の内容と主な事業

【変更前】 路線バスの利便性の向上

【変更後】 路線バス、鉄道の利便性の向上

## 2. 賑わいと癒しの創造

### 〔1〕 魅力ある湯治場としての復活

#### 〔1〕 まちで楽しむ（観光） 現状と課題

【変更前】 本市にお越しいただいた宿泊客数は団体客から個人・グループといった少人数での旅行への形態の変化やニーズの多様化などにより、昭和 44 年度の約 532 万人をピークに年々減少してまいりました。

【変更後】 本市は豊かな自然資源有する温泉観光地として発展してきました。しかしながら、団体客から個人・グループといった少人数での旅行への形態の変化やニーズの多様化などにより、昭和 44 年度の約 532 万人をピークに年々減少してまいりました。

#### 〔1〕 まちで楽しむ（観光） 現状と課題

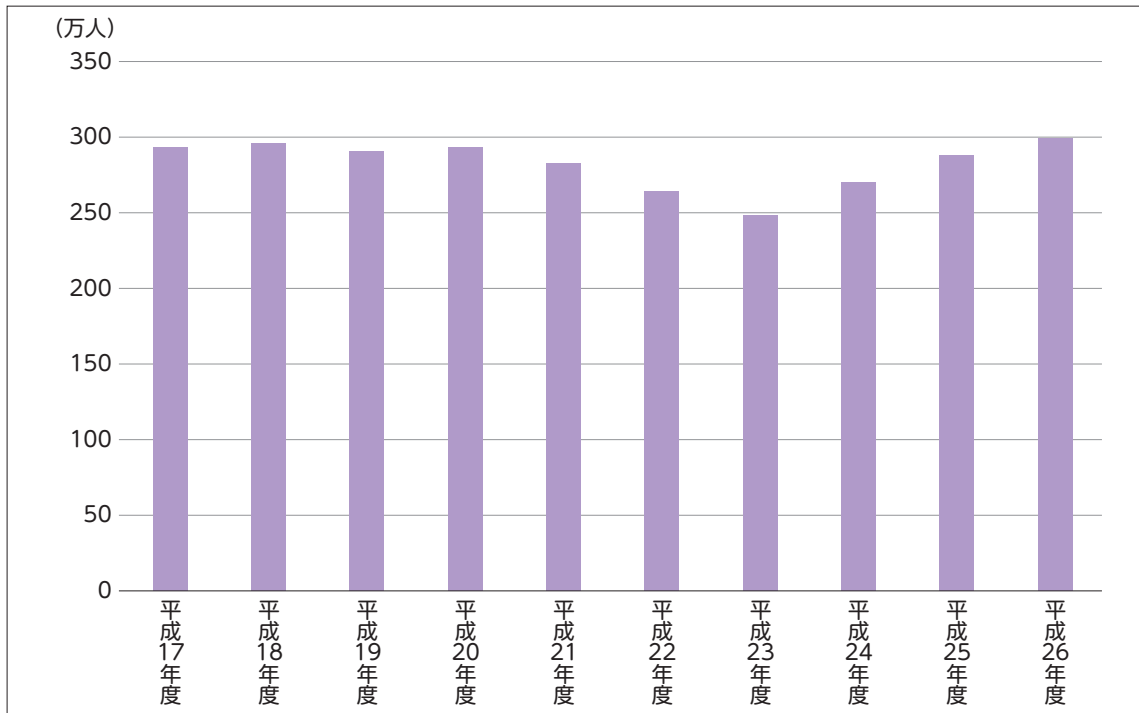
【変更前】 2020 年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、これに合わせ予想される外国人観光客の増加に対応した、外国人観光客を誘客するための環境整備を行っていく必要があります。

【変更後】 東京オリンピック・パラリンピックをはじめとした国際的なイベントが開催される中で予想される外国人観光客の増加に対応した、外国人観光客を誘客するための環境整備を行っていく必要があります。

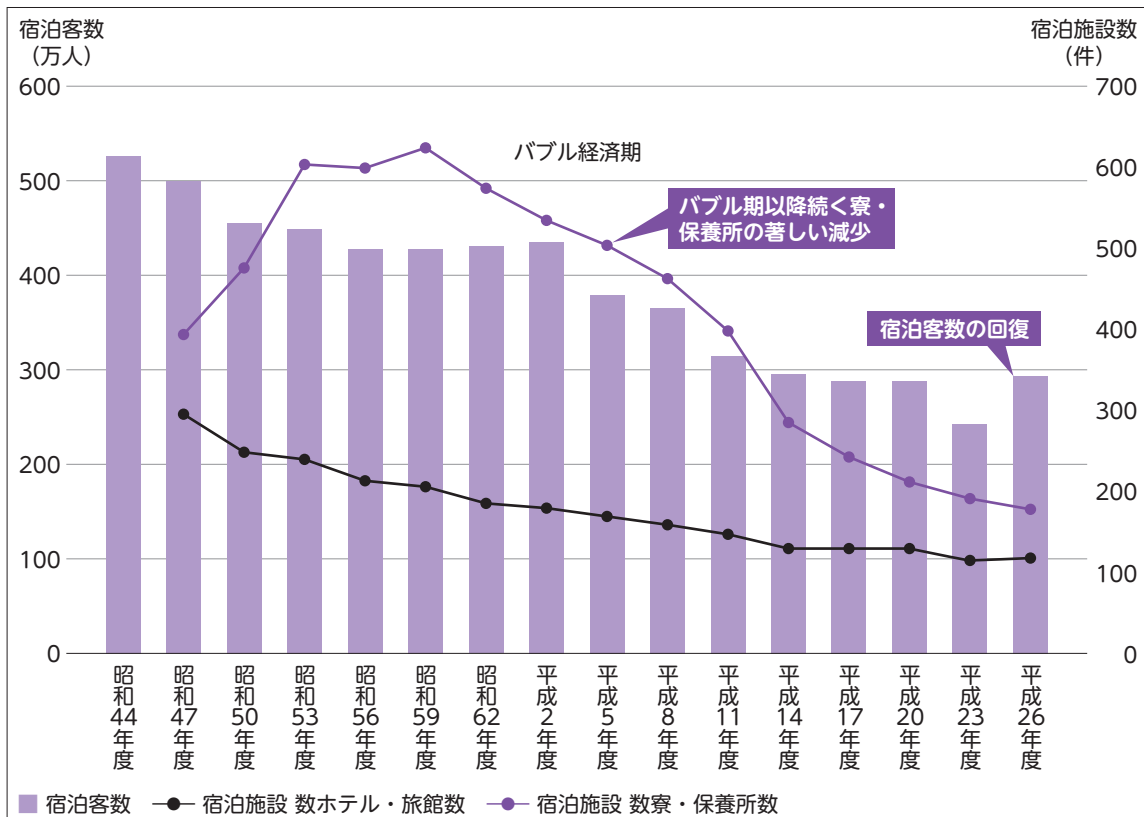


## [1] まちで楽しむ（観光）グラフ

【変更前】平成 17 年度から平成 26 年度までの入湯税から見た宿泊客数



【変更後】昭和 44 年度から平成 26 年度までの入湯税から見た宿泊客数



## [1] まちで楽しむ（観光）施策の方向

【変更前】旅行形態や観光客ニーズが多様化していることから、観光満足度などに対する調査・分析を行っていきます。

【変更後】旅行形態や観光客ニーズが多様化していることから、誘客促進のための調査・分析を行っていきます。

## [2] まちを知ってもらう（情報発信・収集）現状と課題

【変更前】本市の魅力やイメージを高めるため、プロモーションを戦略的に行い、「熱海に訪れたい」、「熱海に住みたい」、「投資をしたい」という「選択されるまち」となるよう街全体の情報発信力を高めていく必要があります。

【変更後】本市の地域ブランドとしての魅力を高めるため、プロモーションを戦略的に行い、「熱海に訪れたい」、「熱海に住みたい」、「投資をしたい」という「選択されるまち」となるよう街全体の情報発信力を高めていく必要があります。

## [2] まちを知ってもらう（情報発信・収集）施策の方向

【変更前】シーズンごとにコンセプトやタイトルを設定し、観光関連団体や市民自らが実施するイベントなどにも反映させます。

【変更後】観光情報の発信については、シーズンごとにコンセプトやタイトルを設定し、観光関連団体や市民自らが実施するイベントなどにも反映させます。

## [2] まちを知ってもらう（情報発信・収集）施策の方向

【変更前】市民や別荘所有者の方の情報を集約、拡散するためのインターナルプロモーションを推進します。

【変更後】市民や別荘所有者の方からの愛着に基づく情報発信がされるよう推進します。

## [2] まちを知ってもらう（情報発信・収集）評価指標と目標値

【変更前】最終目標 290,000 件 / 月

【変更後】最終目標 300,000 件 / 月

## [2] まちを知ってもらう（情報発信・収集）評価指標と目標値

【変更前】最終目標 33.0 ポイント

【変更後】最終目標 33.0 ポイント  
市町村ランキング 15 位以内

## [2] 熱海らしい観光まちづくりによる満足度の向上

## [1] まちを匂わせる（文化の振興）現状と課題

【変更前】江戸城を築城した際の石垣として切り出された場所である「石丁場遺跡」が現存しています。

【変更後】国の史跡に指定された、「江戸城石垣石丁場跡」が現存しています。

## [1] まちを匂わせる（文化の振興）施策の方向

【変更前】市民ニーズに合った文化活動に対する活動の場の提供・支援により文化活動の活性化を図ってまいります。

【変更後】市民や観光客のニーズに合った文化活動に対する活動の場の提供・支援により文化活動の活性化を図ってまいります。

## [1] まちを匂わせる（文化の振興）施策の方向

【変更前】石垣石丁場遺跡については、重要な遺跡であることから更なる調査を近隣市町とともに進めてまいります。

【変更後】江戸城石垣石丁場跡については、重要な遺跡であることから、活用に向けての取り組みを近隣市町とともに進めてまいります。

## [1] まちを匂わせる（文化の振興）施策の内容

【変更前】重要文化財の保存・整備

【変更後】重要文化財等の保存・整備・活用

## [1] まちを匂わせる（文化の振興）施策の内容と主な事業 [次世代育成活動]

【追加】児童・生徒への文化の継承

## [1] まちを匂わせる（文化の振興）施策の内容と主な事業 [文化活動への支援]

【追加】湯めまちをどり「華の舞」の支援

## [1] まちを匂わせる（文化の振興）施策の内容と主な事業 [重要文化財の保存・整備]

【変更前】江戸城石垣石丁場遺跡の保存・整備・活用

【変更後】江戸城石垣石丁場跡の保存・整備・活用

## [1] まちを匂わせる（文化の振興）

施策の内容と主な事業 [重要文化財の保存・整備]

【変更前】旧日向別邸の管理運営及び整備

【変更後】旧日向別邸の保存・整備・活用

## [3] 地域特性を生かした産業の振興

## [1] 個店の取り組みを支援する（商工業の振興）

施策の内容と主な事業 [商店街の魅力向上]

【追加】官民協働による創業支援体制の強化

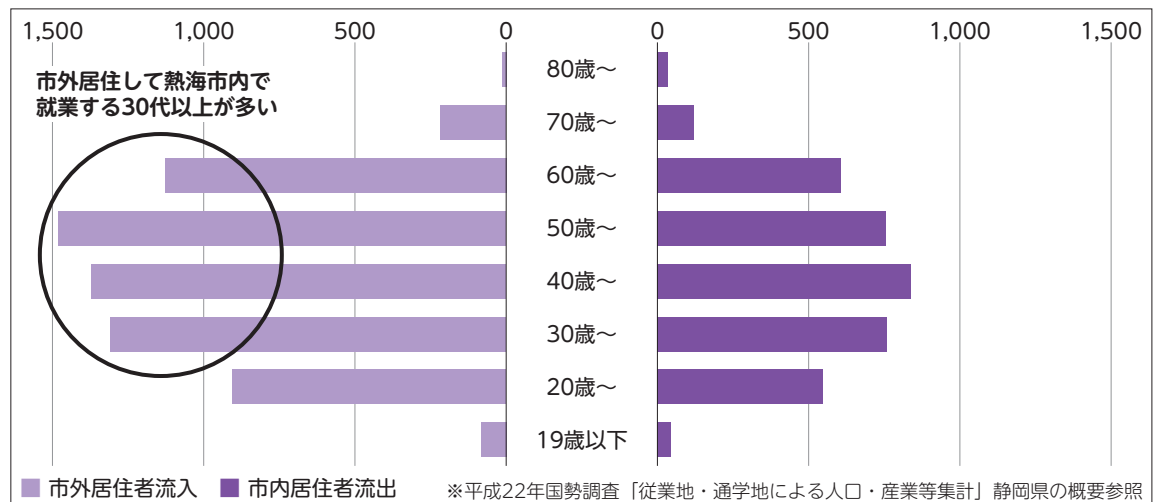
[2] まちの恵みを受け取る（農林水産業の振興）施策の方向

【変更前】鳥獣被害については、市民安全の観点からも行政として対策を講じていきます。鳥獣駆除の捕獲圧の強化を図るとともに、イノシシ等の有害鳥獣の出没しない環境づくりや、自衛工事による被害の防止を目指します。

【変更後】鳥獣被害については、市民安全の観点からも行政として対策を講じていきます。イノシシを中心に個体数の減少に努めるとともに、農産物への被害や住宅への侵入防止対策に努めます。

[3] 新たな産業を育てる（労働力確保）グラフ

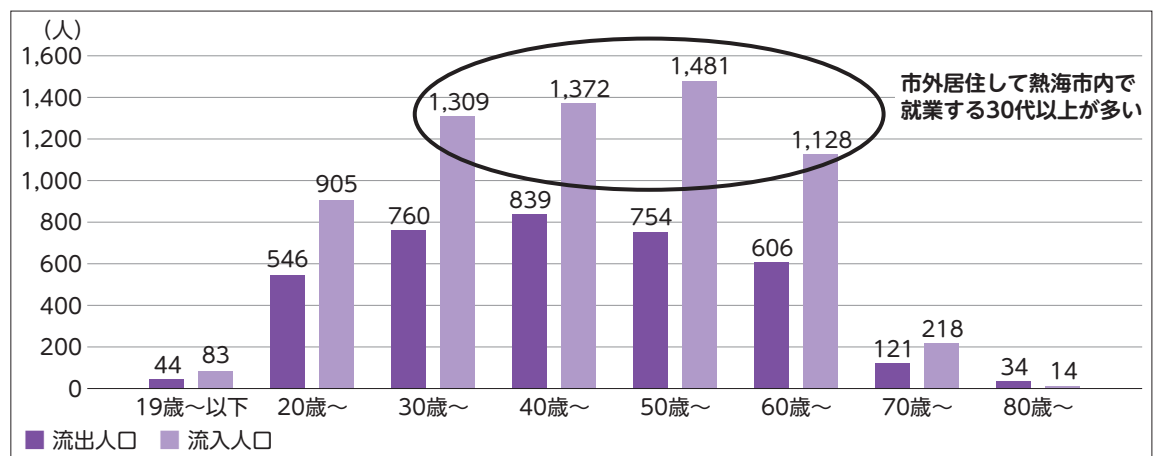
【変更前】熱海市内の就業者流入流出者数



※平成22年国勢調査「従業地・通学地による人口・産業等集計」静岡県概要参照

年齢層	市内就業者総数	市内居住者		流入	流出入差
		市内	流出		
80歳～	281	267	34	14	-20
70歳～	1,471	1,253	121	218	97
60歳～	4,709	3,581	606	1,128	522
50歳～	4,399	2,918	754	1,481	727
40歳～	3,880	2,508	839	1,372	533
30歳～	3,370	2,061	760	1,309	549
20歳～	2,299	1,394	546	905	359
19歳以下	297	214	44	83	39
総数	20,706	14,196	3,704	6,510	2,806

【変更後】熱海市の就業者流出入人口



### 3. 人と自然が共生する社会の創造

#### 【1】環境にやさしいまちづくり

##### 〔1〕まちをきれいにする（廃棄物処理） 現状と課題

【変更前】本市のごみの総排出量は、平成21年4月に粗大ごみ処理費の有料化、平成22年4月に可燃ごみ処理費の有料化を開始したことにより、大幅に減少しましたが、現在はほぼ横ばいの状況であり、市民1人1日当たりのごみ排出量は、静岡県及び全国平均を大幅に上回っています。

【変更後】本市のごみの総排出量は、ごみ処理費の有料化を開始したことや市民のごみ減量化への関心の高まりにより、大幅に減少しましたが、現在はほぼ横ばいの状況であり、市民1人1日当たりのごみ排出量は、静岡県及び全国平均を大幅に上回っています。

#### 【2】自然を守り継承し、癒される空間の創出

##### 〔1〕自然環境を保持する（自然環境の保全） 現状と課題

【変更前】市民や事業主に対し、日常生活での省資源・省エネルギー活動等を通じて、自然環境を保全する意識を高めていくことが求められます。

【変更後】市民や事業主に対し、日常生活での省資源・省エネルギー活動等を通じて、自然を大切にする意識を高めていくことが求められます。

#### 総合計画の推進にあたって

##### 〔1〕市民協働 施策の方向

【変更前】町内会、NPO、ボランティア団体が活動しやすい環境づくりを推進します。

【変更後】町内会、NPO、ボランティア団体が活動しやすい環境づくりを推進するとともに、コミュニティ間の連携を促進します。

##### 〔2〕広域行政 グラフ

【変更前】生活満足度の低さ

【変更後】削除する。

##### 〔2〕広域行政 評価指標と目標値

【変更前】指標 生活全般総合の満足度  
現状 38.6%  
最終目標 60%

【変更後】指標 13市町の観光交流客数  
現状 4,182万人  
最終目標 4,700万人

##### 〔3〕行財政運営 施策の方向

【変更前】経費の削減や市民サービスの向上が図れるものについて、積極的に民間委託を推進する。

【変更後】経費の削減や市民サービスの向上が図れるものについて、資金やノウハウなど、民間活力のさらなる活用を推進する。

## 熱海市総合計画審議会 委員名簿

役職	氏名	団体名
会長	大久保 あかね	常葉大学
副会長	出口 直樹	一般社団法人 静岡県法人会連合会青年部会連絡協議会

部会	氏名	団体名	備考
第一部会	鈴木 斉	社会福祉法人 熱海市社会福祉協議会	部会長
	山田 浩	熱海市 PTA 協議会	副部会長
	井上 弘	熱海市校長会	
	岩田 享	静岡県立熱海高等学校	
	杉浦 誠	一般社団法人 熱海市医師会	
	高橋 風香	国際観光専門学校熱海校	
第二部会	佐野 千尋	三島信用金庫熱海支店	部会長
	狩野 美知子	静岡大学	副部会長
	井村 修	ハローワーク三島	
	内田 進	熱海商工会議所	
	大久保 あかね	常葉大学	
	中島 幹雄	熱海市観光協会連合会	
	村松 治弘	株式会社 静岡銀行熱海支店	
	目黒 俊男	熱海温泉ホテル旅館協同組合	
第三部会	瀧野 慶子	熱海女性連絡会	部会長
	大舘 節生	協同組合 熱海建設業協会	副部会長
	青木 健治	株式会社 伊豆毎日新聞社	
	津田 博之	熱海市町内会長連合会	
	出口 直樹	一般社団法人 静岡県法人会連合会青年部会連絡協議会	
	長津 和正	熱海ガス労働組合	

※ 50 音順、敬称略

## 第四次熱海市総合計画後期基本計画策定市民職員合同会議市民委員名簿

部門名	NO	氏名	公募・団体名
子育て・教育・福祉 部門	1	安藤 真知子	子育てサークル (南あたみマリンキッズ)
	2	樫村 輝美	熱海市民生委員・児童委員協議会
	3	菅原 順子	熱海市 PTA 協議会
	4	野見 伊津子	熱海児童福祉ボランティアの会
	5	山田 珠美	栄光熱海中央保育園
健康づくり・安全 部門	6	大山 正晃	熱海市自主防災会連合会
	7	岡本 吉浩	伊豆山振興会議
	8	菊地 克典	熱海市 PTA 協議会
	9	三宮 由佳理	熱海市消防団
	10	中島 一洋	NPO 法人熱海市体育協会
	11	橋本 昌子	熱海市健康づくり推進委員連絡会
産業・消費・文化 部門	12	犬飼 裕瑛	熱海温泉ホテル旅館協同組合
	13	岸 浩子	熱海市文化団体連合会
	14	三枝 智	熱海商工会議所
	15	齊藤 三義	熱海市観光協会連合会
	16	根本 雅典	いとう漁業協同組合
	17	蒔田 廣康	熱海市農業委員会
	18	渡辺 秀和	熱海市商店街連盟
都市基盤・環境 部門	19	秋山 貴	公益社団法人 静岡県建築士会熱海支部
	20	上原 通子	熱海女性連絡会
	21	大久保 あゆみ	公募
	22	鎌田 將義	一般社団法人 熱海青年会議所
	23	原 規公	熱海営業自動車組合
	24	細谷 公嗣	公益社団法人 静岡県宅地建物取引業 協会東部支部 伊豆支所熱海地区

※ 50 音順、敬称略

## 熱海市総合計画策定委員会委員名簿 (第四次熱海市総合計画後期基本計画)

氏名	役職
委員長	森本 要 副市長
副委員長	杉山 勝 経営企画部長
委員	三田 光行 教育長
委員	森下 弘基 市民生活部長
委員	出野 武彦 観光建設部長
委員	山田 義正 健康福祉部長
委員	佐藤 光俊 公営企業部長
委員	土屋 千秋 消防長
委員	稲田 達樹 経営企画部次長
委員	西島 光章 観光建設部次長



## 第四次熱海市総合計画後期基本計画策定市民職員合同会議職員委員名簿

部門名	NO	氏名	備考
子育て・教育・福祉 部門	1	坂本 信夫	進行役
	2	小山 隆儀	進行役
	3	木村 加寿子	進行役
	4	森野 敦	進行役
	5	佐藤 織絵	
	6	芹澤 元一	
	7	橘田 良子	
	8	長谷川 かほる	
	9	大石 真裕	取りまとめ責任者
健康づくり・安全 部門	10	山口 智朗	進行役
	11	杉村 知志	進行役
	12	八木 昭寿	進行役
	13	村山 弘幸	
	14	川口 伸洋	
	15	長島 祐子	
	16	前川 美奈子	取りまとめ責任者
産業・消費・文化 部門	17	角田 美佐子	進行役
	18	中田 吉則	進行役
	19	小山 みどり	進行役
	20	神尾 勲	進行役
	21	水口 裕介	
	22	後藤 登志恵	
	23	青木 重憲	
	24	中島 浩太郎	取りまとめ責任者
都市基盤・環境 部門	25	青木 渉	進行役
	26	椎野 正昭	進行役
	27	小松 智士	進行役
	28	宿崎 康彦	進行役
	29	菊間 淳一	
	30	逸見 洋一郎	
	31	高橋 邦治	
	32	福田 俊	
	33	勝又 大輔	取りまとめ責任者
	34	飯島 由香利	
	35	遠藤 勇一	
	36	中田 圭一	

## 第四次熱海市総合計画後期基本計画試案作成担当者名簿

### ○豊かな暮らしの創造

	施策名	氏名	氏名
1	出産育児の不安を解消する（乳幼児）	佐藤 織絵	高橋 真弓
2	状況に応じて支援する（子育て支援）	長谷川 かほる	三枝 さおり
3	生きる力を育む（学校教育）	横川 雄太	橘田 良子
4	地域で見守り、育てる（健全育成）	横川 雄太	橘田 良子
5	住みなれた地域での安心な暮らし（地域福祉の推進）	大石 真裕	小泉 文
6	互いに尊重する（障がい者福祉）	長谷川 かほる	三枝 さおり
7	健康で生きがいのある暮らし（高齢者福祉の増進）	大石 真裕	小泉 文
8	コミュニティ活動の活発化（つながりづくり）	芹澤 元一	加藤 夕貴
9	健康寿命を伸ばす（健康づくり）	長島 祐子	窪田 さやか
10	病気を予防する（疾病予防・地域医療）	佐藤 織絵	梅原 幸子
11	身体を動かす（スポーツの振興）	前川 美奈子	佐藤 真由美
12	いつまでも自ら学べる（生涯学習の環境づくり）	芹澤 元一	加藤 夕貴
13	命を守る（消防救急）	川口 伸洋	小川 千博
14	災害に備える（防災）	村山 弘幸	中島 順一郎
15	事故や犯罪を防ぐ（防犯・交通安全）	村山 弘幸	中島 順一郎
16	消費者を守る（消費生活）	青木 重憲	神山 淑実
17	まちを活かす（まちづくり）	勝又大輔	遠藤 勇一
18	まちを結ぶ（交通）	勝又大輔	遠藤 勇一

### ○賑わいと癒しの創造

	施策名	氏名	氏名
19	まちで楽しむ（観光）	水口 裕介	小林 啓一
20	まちを知ってもらおう（情報発信・収集）	中島 浩太郎	杉山 由記
21	まちを匂わせる（文化の振興）	水口 裕介	小林 啓一
22	個店の取り組みを支援する（商工業の振興）	後藤 登志恵	金田 恵理奈 (退職)
23	まちの恵みを受け取る（農林水産業の振興）	青木 重憲	神山 淑実
24	新たな産業を育てる（労働力確保）	後藤 登志恵	金田 恵理奈 (退職)

## ○人と自然が共生する社会の創造

施策名		氏名	氏名
25	まちをきれいにする（廃棄物処理）	菊間 淳一	逸見 洋一郎
26	まちを美しくする（環境衛生）	菊間 淳一	逸見 洋一郎
27	自然環境を保持する（自然環境の保全）	高橋 邦治	飯島 由香利
28	豊かな生活空間を創る（緑地・公園・海岸・河川）	福田 俊	関戸 有理
			中田 圭一
29	快適な住環境を創る（生活関連施設）	福田 俊	関戸 有理
			中田 圭一

## ○総合計画の推進にあたって

施策名		氏名	氏名
30	市民協働	岩下 昭博	
31	広域行政	佐藤 芳樹	
32	行財政運営	佐藤 公成	

## ○事務局

企画財政課長	小 坏 透
企画室長	田 中 英 樹
企画室主査	佐 藤 公 成
企画室主任	佐 藤 芳 樹
企画室副主任	稲 葉 最

## 基礎資料

## 人口の推移

各年 10月1日現在

年次	総数 (人)	対前回 (人)	対前回比 (%)	男			女			
				(人)	増減数 (人)	構成比 (%)	(人)	増減数 (人)	構成比 (%)	
大正 9年	13,843	—	—	7,283	—	—	6,560	—	—	
昭和	14年	16,609	2,766	120.0%	8,620	1,337	51.9%	7,989	1,429	48.1%
	5年	19,677	3,068	118.5%	9,910	1,290	50.4%	9,767	1,778	49.6%
	10年	25,508	5,831	129.6%	12,730	2,820	49.9%	12,778	3,011	50.1%
	15年	27,966	2,458	109.6%	13,093	363	46.8%	14,873	2,095	53.2%
	20年	39,051	11,085	139.6%	17,864	4,771	45.7%	21,187	6,314	54.3%
	25年	38,939	△ 112	99.7%	17,738	△ 126	45.6%	21,201	14	54.4%
	30年	44,236	5,297	113.6%	19,478	1,740	44.0%	24,758	3,557	56.0%
	35年	52,163	7,927	117.9%	23,197	3,719	44.5%	28,966	4,208	55.5%
	40年	54,540	2,377	104.6%	24,389	1,192	44.7%	30,151	1,185	55.3%
	45年	51,281	△ 3,259	94.0%	23,182	△ 1,207	45.2%	28,099	△ 2,052	54.8%
平成	50年	51,437	156	100.3%	23,447	265	45.6%	27,990	△ 109	54.4%
	55年	50,082	△ 1,355	97.4%	22,825	△ 622	45.6%	27,257	△ 733	54.4%
	60年	49,374	△ 708	98.6%	22,365	△ 460	45.3%	27,009	△ 248	54.7%
	2年	47,291	△ 2,083	95.8%	21,217	△ 1,148	44.9%	26,074	△ 935	55.1%
	7年	45,610	△ 1,681	96.4%	20,480	△ 737	44.9%	25,130	△ 944	55.1%
	12年	42,936	△ 2,674	94.1%	19,237	△ 1,243	44.8%	23,699	△ 1,431	55.2%
	17年	41,202	△ 1,734	96.0%	18,496	△ 741	44.9%	22,706	△ 993	55.1%
	22年	39,611	△ 1,591	96.1%	17,718	△ 778	44.7%	21,893	△ 813	55.3%

資料：国勢調査

## 人口構造の推移

単位：人、%

区分	平成 12年	平成 17年	平成 22年	平成 27年	
総数	42,936 100.0%	41,202 100.0%	39,611 100.0%	38,120 100.0%	
内訳	老年人口 (65歳以上)	11,620 27.1%	13,105 31.8%	15,298 38.6%	16,766 44.0%
	65歳～74歳	6,482 15.1%	6,984 17.0%	7,754 19.6%	8,343 21.9%
	75歳以上	5,138 12.0%	6,121 14.9%	7,544 19.0%	8,423 22.1%
生産年齢人口 (15歳～64歳)	26,800 62.4%	23,785 57.7%	21,103 53.3%	18,654 48.9%	
年少人口 (0～14歳)	4,515 10.5%	3,848 9.3%	3,204 8.1%	2,700 7.1%	
不詳	1 0.0%	464 1.1%	6 0.0%	— —	

※平成 12、17、22 年度は国勢調査。平成 27 年は 9 月末日の住民基本台帳人口。

## 地区別住民基本台帳人口及び世帯数

各年12月末日現在 単位：人

年次	区分	総数	熱海	伊豆山	泉	初島	多賀	網代
平成22年	人口	40,014	21,639	3,927	2,305	215	10,185	1,743
	世帯数	21,375	12,250	2,275	1,289	118	4,582	861
平成23年	人口	39,594	21,520	3,794	2,297	211	10,091	1,681
	世帯数	21,341	12,278	2,216	1,304	112	4,585	846
平成24年	人口	39,491	21,433	3,774	2,394	218	10,032	1,640
	世帯数	21,494	12,307	2,223	1,379	121	4,619	845
平成25年	人口	38,992	21,246	3,669	2,415	204	9,875	1,583
	世帯数	21,370	12,274	2,179	1,394	111	4,581	831
平成26年	人口	38,442	20,869	3,641	2,423	204	9,757	1,548
	世帯数	21,224	12,133	2,189	1,395	113	4,576	818

資料：市民生活課

## 産業、男女別国勢調査就業人口（15歳以上）

各年10月1日現在 単位：人

区分	平成12年			平成17年			平成22年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	22,596	11,838	10,758	20,106	10,497	9,609	18,047	9,478	8,569
第1次産業	385	277	108	348	265	83	286	221	65
農業	251	166	85	245	180	65	205	152	53
林業・狩猟業	7	7	—	3	3	—	4	4	—
漁業・水産養殖業	127	104	23	100	82	18	77	65	12
第2次産業	3,109	2,442	667	2,595	2,036	559	2,159	1,689	470
鉱業	8	6	2	1	1	—	3	3	—
建設業	2,099	1,770	329	1,756	1,498	258	1,437	1,190	247
製造業	1,002	666	336	838	537	301	719	496	223
第3次産業	19,077	9,109	9,968	17,075	8,147	8,928	15,102	7,277	7,825
電気ガス水道業	128	106	22	100	89	11	81	68	13
運輸・通信業	1,103	954	149	1,026	887	139	1,003	848	155
卸売・小売業	5,619	2,564	3,055	3,427	1,596	1,831	2,986	1,386	1,600
金融・保険業	326	133	193	268	121	147	247	112	135
不動産業	662	288	374	764	371	393	724	364	360
サービス業	10,664	4,632	6,032	10,980	4,705	6,275	9,548	4,131	5,417
公務	575	432	143	510	378	132	513	368	145
分類不能	25	10	15	88	49	39	500	291	209

資料：国勢調査

## 産業別事業所数及び従業者数

産業	平成 8 年		平成 13 年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総数	4,165	28,095	3,713	24,380
農業	3	15	5	25
漁業	6	121	5	76
建設業	355	2,150	328	1,801
製造業	118	812	94	610
電気・ガス・熱供給・水道業	11	254	10	195
運輸・通信業	71	1,464	69	1,204
卸売・小売業・飲食店	1,756	7,645	1,543	6,436
金融・保険業	39	351	39	327
不動産業	307	1,090	323	1,189
サービス業	1,474	13,458	1,270	11,819
公務	25	735	27	698

産業	平成 21 年		平成 26 年	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総数	3,238	23,430	2,928	21,537
農業・林業	5	20	6	51
漁業	1	26	2	29
建設業	323	1,670	277	1,228
製造業	85	557	83	484
電気・ガス・熱供給・水道業	6	107	4	44
情報通信業	24	201	16	75
運輸業・郵便業	41	1,115	30	975
卸売・小売業	723	4,005	628	3,234
金融・保険業	25	213	25	204
不動産業・物品賃貸業	362	1,294	332	1,160
学術研究、専門・技術サービス業	92	469	73	353
宿泊業・飲食サービス業	807	6,894	731	6,417
生活関連サービス業・娯楽業	286	1,115	251	946
教育、学習支援業	88	706	84	647
医療・福祉	142	2,463	149	3,132
複合サービス事業	14	125	13	177
サービス業(他に分類されないもの)	189	1,774	202	1,826
公務(他に分類されるものを除く)	25	676	22	555

資料：事業所・企業統計調査（平成 8 年、平成 13 年）  
総務省「経済センサス - 基礎調査結果」（平成 21 年、平成 26 年）

## 福祉施設

各年3月31日現在 単位：施設

年次	児童遊園	保育所		老人ホーム	知的障害者 通所施設			
		市立	私立		養護	特別		
平成22年	1	6	4	2	4	1	3	1
平成23年	1	6	4	2	4	1	3	1
平成24年	1	6	4	2	4	1	3	1
平成25年	1	6	4	2	4	1	3	1
平成26年	1	6	3	3	4	1	3	1

資料：学校教育課、社会福祉課、長寿介護課

## 保育所

平成27年4月1日現在 単位：人

施設別	定員	職員数	保育士	園児数						
					0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳以上
総数	430	112	88	368	17	49	58	85	84	75
市立	230	50	40	151	1	21	21	37	42	29
初島保育園	20	2	2	3	0	0	2	0	1	0
和田木保育園	90	20	16	58	0	10	9	17	13	9
小嵐保育園	120	28	22	90	1	11	10	20	28	20
私立	200	62	48	217	16	28	37	48	42	46
多賀保育園	60	17	14	62	3	6	11	14	11	17
富士保育園	60	17	13	70	3	7	11	19	15	15
栄光熱海中央保育園	80	28	21	85	10	15	15	15	16	14

資料：学校教育課

## 親子ふれあいサロン利用者数

年別	ふれあいサロン		
	保護者(人)	児童(人)	合計(人)
平成22年度	2,597	3,155	5,752
平成23年度	2,292	2,992	5,284
平成24年度	2,607	3,343	5,950
平成25年度	2,532	3,077	5,609
平成26年度	2,369	2,886	5,255

資料：社会福祉課

## 1歳6ヶ月児健診実施状況

年度	一般健診			歯科健診		
	対象人員	実施人員	受診率	対象人員	実施人員	虫歯の者
平成22年度	170	156	91.8%	170	156	2
平成23年度	187	179	95.7%	187	179	4
平成24年度	171	168	98.2%	171	168	0
平成25年度	162	147	90.7%	162	146	3
平成26年度	156	151	96.8%	156	151	5

資料：健康づくり課

## 3 歳児健診実施状況

年度	一般健診			歯科健診		
	対象人員	実施人員	受診率	対象人員	実施人員	虫歯の者
平成 22 年度	170	169	99.4%	170	168	28
平成 23 年度	189	173	91.5%	189	171	38
平成 24 年度	169	165	97.6%	169	164	23
平成 25 年度	176	168	95.5%	176	167	34
平成 26 年度	172	169	98.3%	172	167	30

資料：健康づくり課

## 火災発生件数

単位：件

年別	発生件数	発生場所			
		建物	林野	車輛船舶	その他
平成 22 年	13	11	0	1	1
平成 23 年	6	2	1	1	2
平成 24 年	14	8	0	5	1
平成 25 年	14	10	0	1	3
平成 26 年	20	11	1	3	5

資料：消防本部消防総務課

## 罹災状況

年次	世帯数 (世帯)	死傷者 (人)			焼損面積		損害額 (千円)
		死者 (人)	負傷者 (人)	建物 (㎡)	林野 (a)		
平成 22 年	21	10	5	5	677	0	29,585
平成 23 年	2	1	1	0	0	1	803
平成 24 年	21	2	2	0	1,367	0	80,514
平成 25 年	16	4	2	2	416	0	19,725
平成 26 年	5	4	0	4	13	40	9,188

資料：消防本部消防総務課

## 救急活動出動件数及び搬送人員

年別	総数		火災		自然災害		水難事故		交通事故		労働災害	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
平成 22 年	3,020	2,843	2	2	1	1	6	4	182	214	13	13
平成 23 年	3,079	2,970	1	1	0	0	9	9	178	223	15	15
平成 24 年	3,170	2,993	0	0	0	0	7	6	153	163	19	19
平成 25 年	3,263	3,021	1	2	0	0	6	5	140	141	26	25
平成 26 年	2,994	2,797	2	1	0	0	9	5	165	199	38	36

年別	運動競技		一般負傷		加害行為		自損行為		急病		その他	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
平成 22 年	10	10	537	519	14	11	38	26	2,019	1,852	198	191
平成 23 年	1	1	561	544	8	9	32	25	2,052	1,925	222	218
平成 24 年	3	5	597	563	6	5	17	11	2,155	2,014	213	207
平成 25 年	5	5	626	599	15	11	19	10	2,257	2,063	168	160
平成 26 年	5	5	560	528	14	14	20	10	2,015	1,839	166	160

資料：消防本部消防総務課



## 主要生活物価価格

各年 12 月中の平均価格 単位：円

年次	食パン 1斤		味噌 1kg		砂糖 1kg		醤油 1ℓ		豚もも(スライス) 100g	
	熱海市	静岡県	熱海市	静岡県	熱海市	静岡県	熱海市	静岡県	熱海市	静岡県
平成 22 年	163	157	281	295	193	185	278	268	148	141
平成 23 年	172	158	261	288	194	194	270	255	148	144
平成 24 年	163	153	266	284	206	191	281	259	148	147
平成 25 年	158	154	231	280	213	191	290	257	164	146
平成 26 年	163	157	269	290	233	197	313	262	171	163

年次	鶏卵 L 10ヶ入り		洗濯用合成洗剤 (無リン)1.2kg・1.1kg		マヨネーズ 500g		台所用洗剤 300mℓ・270mℓ		家庭用灯油(店頭) 18ℓ	
	熱海市	静岡県	熱海市	静岡県	熱海市	静岡県	熱海市	静岡県	熱海市	静岡県
平成 22 年	209	208	307	322	288	276	165	162	1,540	1,415
平成 23 年	198	196	298	322	288	270	159	161	1,804	1,621
平成 24 年	212	204	390	316	283	264	163	156	1,769	1,654
平成 25 年	233	223	351	320	283	268	161	158	1,982	1,831
平成 26 年	262	228	364	325	337	271	156	158	2,052	1,826

資料：静岡県 県民生活課

## ごみ処理状況

単位：t

年度	総量	可燃物			粗大ごみ		
		計	収集量	持込量	計	収集量	持込量
平成 22 年	20,335	20,018	10,557	9,461	317	40	277
平成 23 年	19,904	19,601	10,284	9,317	303	46	257
平成 24 年	20,019	19,695	10,263	9,432	324	50	274
平成 25 年	20,173	19,849	10,110	9,739	324	49	275
平成 26 年	19,834	19,518	9,993	9,525	316	48	268

年度	処分量	焼却残渣	
		焼却残渣	埋立
平成 22 年	2,582	2,203	379
平成 23 年	2,368	2,007	361
平成 24 年	2,308	1,963	345
平成 25 年	1,991	1,833	158
平成 26 年	2,160	2,122	38

資料：環境センター

## 幼稚園・小学校・中学校の状況

各年5月1日現在 単位：人

年別	幼稚園				小学校				中学校			
	園数	学級数	園児数	教員数	学校数	学級数	児童数	教員数	学校数	学級数	生徒数	教員数
平成23年	6	18	220	35	8	66	1,259	111	5	32	739	69
平成24年	6	18	235	37	8	64	1,210	108	5	32	696	70
平成25年	6	18	213	37	8	62	1,182	103	5	31	664	66
平成26年	6	18	215	28	8	62	1,138	107	4	27	638	60
平成27年	6	18	196	28	8	60	1,108	100	4	27	613	61

資料：学校基本調査

## 観光入込客数

年度	総数		宿泊施設 利用人員		観光施設・ イベント客数	
		前年比		前年比		前年比
平成22年	5,615,227	97.4%	2,728,996	93.4%	2,886,231	101.6%
平成23年	5,231,252	93.2%	2,561,637	93.9%	2,669,615	92.5%
平成24年	5,607,963	107.2%	2,828,831	110.4%	2,779,132	104.1%
平成25年	6,062,355	108.1%	3,036,727	107.3%	3,025,628	108.9%
平成26年	6,406,773	105.7%	3,156,120	103.9%	3,250,653	107.4%

資料：税務課、静岡県観光政策室

## 宿泊施設数

年次	総数	ホテル・旅館	寮・保養所
平成22年	322	129	193
平成23年	313	118	195
平成24年	300	121	179
平成25年	303	121	182
平成26年	301	121	180

資料：観光経済課

## 地目別面積

各年1月1日現在 単位：㎡

年	総数	田	畑	宅地	鉱泉地	山林	原野	雑種地
平成23年	33,965,111	—	4,341,004	6,907,783	1,472	16,455,285	3,580,201	2,679,366
平成24年	33,952,770	—	4,337,728	6,899,632	1,465	16,441,751	3,561,520	2,710,674
平成25年	33,956,383	—	4,333,474	6,928,697	1,451	16,423,995	3,561,372	2,707,394
平成26年	33,952,598	—	4,329,456	6,938,702	1,454	16,415,619	3,551,418	2,715,949
平成27年	33,948,589	—	4,300,361	6,943,750	1,438	16,445,490	3,544,514	2,713,036

資料：税務課

## 住居の種類・住宅の所有関係別一般世帯数等

区分	平成 12 年				
	世帯数	世帯人員	1 世帯 当たり人	1 世帯当たり 延べ面積 (㎡)	1 人当たり 延べ面積 (㎡)
一般世帯	19,656	42,167	2.15	—	—
住宅に住む一般世帯	17,948	40,213	2.24	75.6	33.7
主世帯	17,652	39,684	2.25	76.2	33.9
持ち家	9,697	24,987	2.58	104.5	40.5
公営・公団・公社の借家	1,764	3,881	2.20	46.1	20.9
民営の借家	5,167	8,945	1.73	39.6	22.9
給与住宅	1,024	1,871	1.83	45.3	24.8
間借り	296	529	1.79	38.6	21.6
住宅以外に住む一般世帯	1,708	1,954	1.14	—	—

区分	平成 17 年				
	世帯数	世帯人員	1 世帯 当たり人	1 世帯当たり 延べ面積 (㎡)	1 人当たり 延べ面積 (㎡)
一般世帯	19,224	39,988	2.08	—	—
住宅に住む一般世帯	18,016	38,610	2.14	78.0	36.4
主世帯	17,761	38,191	2.15	78.5	36.5
持ち家	10,633	25,464	2.39	103.1	43.1
公営・公団・公社の借家	1,665	3,310	1.99	46.3	23.3
民営の借家	4,418	7,686	1.74	39.7	22.8
給与住宅	1,045	1,731	1.66	44.2	26.7
間借り	255	419	1.64	40.7	24.7
住宅以外に住む一般世帯	1,208	1,378	1.14	—	—

区分	平成 22 年				
	世帯数	世帯人員	1 世帯 当たり人	1 世帯当たり 延べ面積 (㎡)	1 人当たり 延べ面積 (㎡)
一般世帯	19,720	38,805	1.97	—	—
住宅に住む一般世帯	18,806	37,811	2.01	—	—
主世帯	18,582	37,454	2.02	—	—
持ち家	11,877	26,083	2.20	—	—
公営・公団・公社の借家	1,541	2,893	1.88	—	—
民営の借家	4,250	7,098	1.67	—	—
給与住宅	914	1,380	1.51	—	—
間借り	224	357	1.59	—	—
住宅以外に住む一般世帯	914	994	1.09	—	—

資料：国勢調査

## 地区別の温泉湧出状況

平成 27 年 2 月

地区別	源泉数	1 井戸当り湧出量 ℓ/分		温度 °C	
		最多	平均	最高	平均
熱海地区	336	181.8	62.3	97.4	66.2
伊豆山地区	103	255.3	61.9	81.1	61.2
泉地区	34	140.0	54.3	75.3	41.2
南熱海地区	58	315.8	119.0	91.1	55.5

資料：温泉組合